

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E142F011		地理学実習 (Practice on Geography)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択	1	3	教育学部		月4	日本語	英語	単独						
担当教員	氏名 土居晴洋													
	E-mail hdoi@oita-u.ac.jp(土居) 内線 7549(土居)													
授業の概要	主として前半は自然地理学に関わる技能を、後半は人文地理学に関わる技能を対象とする。与えられた課題について、各自で図上作業やパソコン操作を行うことにより、技能の習得を図る。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 学術文献・地域資料の検索, 入手, 読解ができる。									○	○				
目標2 地形図・空中写真の読解, 分析ができる。									○	○				
目標3 統計データの入手, 分析, 読解ができる。									○	○				
目標4 論理的に考え, 意見交換を行うことができる。							○			○				
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2	3	3	2			
授業の内容														
1 学校教育「地理」における地理的技能														
2 地形図の判読														
3 水系図の作成														
4 空中写真の判読														
5 地形分類図の作成														
6 GIS(地理情報システム)の概念														
7 投影法の概念														
8 地図データの入手														
9 GISによる主題図(担当:地形等自然条件)の作成														
10 地域資料の入手(1):地域資料の種類と所在														
11 " (2):統計データの入手														
12 統計データの解析(1):EXCELの基本的操作														
13 " (2):EXCELによる統計データの解析														
14 " (3):EXCELによるグラフの作成														
15 GISによる主題図(人口・産業)の作成														
ラーニングコンテイング	A:知識の定着・確認		○	受講生の主体的な検討による計画,調査,まとめを行う。				工夫その他の	LMS(Moodle)の活用					
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		資料の読解,疑問点の整理(15h)											
	事後学修		課題の実施(30h)											
	想定時間合計		45											
教科書	野間晴雄ほか編著(2012)『ジオ・パルNEO-地理学・地域調査便利帖-』海青社													
参考書	古澤拓郎ほか『フィールドワーカーのためのGPS・GIS入門』(古今書院、2011)													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	質疑応答など授業に主体的に参加する。		30%				○						
	時間外学習を適切に行う。		30%	○	○	○							
	課題を提出する。		40%	○	○	○							
注意事項													
備考													
リンク			URL										